

カトリック仙台司教区・ **カリタスジャパン** 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12
カトリック仙台司教区事務局
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378
1) 義援金振替口座：02260-9-2305
名義：カトリック仙台司教区本部事務局
2) 支援金振替口座：00170-5-95979
名義：カリタスジャパン

今年の夏、東北地方では、平年より6~9日遅い8月3日に梅雨明けが発表されました。それと前後して、各地で様々な夏祭りが開催されました。震災前から開催されているお祭り、震災後に始められたお祭り、そして震災後中止され、今年から再開されたお祭りなどがありました。各カリタスベースも、イベントに参加・協力することが出来ましたので、その様子をご紹介します。

また、カリタス大槌ベースが「おおつちさいがいエフエム」ラジオで、週1回番組を担当していることについてご紹介いたします。インターネットを利用することで、全国どこからでも聴くことが出来ますので、ぜひ皆さん、大槌からの声を聴いてみてください。

石巻ベースの夏

～住民、支援者の枠を超えて～

カリタス石巻ベース 松村 瞳

今年の夏も、住民さんと楽しい時間を過ごすことができました。7月31日、8月1日には、第90回目となる石巻川開き祭りが開催され、多くの人や露店でにぎわいました。

31日、毎年行われている灯籠流しでは、鎮魂の願いなどが込められた灯籠1万個ほどが流されました。オープンスペースを利用される方、仮設住宅集会所でのイベントに参加された方などに、灯籠へのメッセージ記入をお願いしました。震災で亡くなった方への呼びかけや、今後の自分の目標、絵など、みなさんそれぞれの思いを書かれ、約150基分が集まりました。当日はメッセージを記入された方も様子を見にいらっしや、見た目の美しさ、会場の雰囲気にもスタッフも一緒に感動していました。



8月1日、石巻ベースがある町内会に混ぜていただき、他町内会や団体と一緒に盆踊りをしました。震災のため中止され、3年ぶりの盆踊りということもあってか、住民さんもわくわくしている様子でした。ベトナムから来てくれたボランティアさんも参加し、初めての浴衣と盆踊りを戸惑いながらも楽しんでいました。知り合いと久しぶりに会ったり、応援や指導を受けたり、踊りながらおしゃべりをしたり、本当に楽しく、時間や距離を短く感じました。



町内会の一員として盆踊りに参加！

8月2日、仮設山崎前団地の方々と合同バーベキュー大会を開き、スタッフ含め20名ほどで楽しみました。仕事や学校で普段お茶会にいらっしやらない方ともお会いでき、また、食事やお酒をご一緒することでいつもより会話が盛り上がりました。

8月3日、仮設押切沼団地の自治会主催の夏祭りにお呼びいただきました。普段の集会所とは異なる雰囲気を感じることができました。40名程が集まり、食事やお酒を楽しんでいました。「いつもありがとうね～」と住民さんか

らクジラ肉の差し入れをいただいたり、食事を取り分けていただいたりと、とてもありがたく感じた数時間でした。



8月17日、町内会主催の夏祭りに混ぜていただき、焼きそば等の調理のお手伝いと手芸作品の販売をしました。また、ボランティアさんがカラオケでメキシコのテンポの良い曲を歌ってくれ、それに合わせて住民

さんが踊ったり手をたたいたり、とても明るい雰囲気でした。輪投げやくじ引き、スイカ割り、花火など、子どもたちが楽しめる内容が多く企画され、たくさんの大人が周りで目を細めて見ていました。

私は4月から石巻ベースに入りました。昨年度も夏祭りのお手伝いなどはしましたが、今年の夏は特に“住民”支援者という枠や壁を越えた関わりができたと感じています。これまで石巻ベースのスタッフとして活動されてきた方々、関わってくださった方に心から感謝するとともに、今後も気を引き締めて活動していきたいと感じています。

第3回「ぼらまづり」に参加

NPO 法人 カリタス釜石

梅雨が明けた8月3日、燦々と輝く太陽の下で地域住民とボランティアが釜石駅近くにある「鈴子広場」に集いました。「ぼらまづり」という妙なネーミングのこの祭りは、2011年の8月、ボランティアと地域住民がふれあえる機会を構築しようと「鈴子の盆」として始まって今年ではや3回を数えることになりました。

今年はこれに加えて「釜石市ボランティア連絡協議会」が発足して20周年という節目のお祝いと、2011年3月11日より今日まで釜石で活動した支援団体に対する感謝の集いも合わせて行われることになり、釜石市の野田市長も来賓として駆けつけてくださいました。



実行委員会によりますと、震災発生当初より国内はいうに及ばず海外からもボランティアが釜石に訪れましたが、当初は災害救援が優先され、地域住民と接する機会は、まずありませんでした。そこで今回、地域のお祭りの定着化とあふれる笑顔の創造・ボランティアと地域住民のふれあいを重視し、温かい「鈴子」の街づくりを目指すことになりました。



ヨーヨー釣れたね☆

なお、支援団体への感謝の集いの部では、支援団体を代表してカリタス釜石を含む6団体が釜石市社会福祉協議会より

感謝状の贈呈を受けたことをこの場を借りてご報告させていただきます。この感謝状は、カリタス釜石で活動された3千名を超えるボランティアの皆さまや各地からの様々なご支援、そしてお祈りによって支えてくださった皆様と分かち合いたいと思います。



継続してボランティアを派遣している荒川区や瀬谷区、北上市の社会福祉協議会、県内の学校などがブース出店をしました。ステージの出し物は、「元気になる講演・民謡ショー」や吹奏楽演奏、そして毎年横浜からカリタス釜石にボランティアに来てくださっているフラダンスの先生が踊りを披露しました。カリタスは沿岸ブロックの各ベースにも協力を仰ぎました。宮古ベースはジギスカン、大槌ベースは皿うどん、大船渡ベースはたこ焼きと各ベースの特色を活かしたブース出店となりましたが、カリタス釜石はお祭りといえばフランクフルトと水ヨーヨーつり…ということでフランクフルトと縁日あそびを出させていただきました。

当日は見事に晴れて夏らしい天気の下、汗をかきながらお祭りを盛り上げました。地域住民の方はもちろん、神奈川県からボランティアに来た方々がお客さまとして各ブースを訪れ交流する機会を持つことができました。このお祭りでは各ブースに募金箱が設置され、決まった代金をいただくのではなく募金をしていただくかたちが取られました。この募金は会場になっている鈴子広場の敷地内に建てられている釜石鈴子仮設店舗に寄付されます。

最後に宮古ベース、大槌ベース、大船渡ベース、そして原町ベースからも応援に駆け付けていただきました。カリタスでつながった厚い絆に胸熱くなる一日でもありました。心より感謝申し上げます。また来年お会いしましょう！



「歌津復興夏祭り」

カリタス米川ベース 荒川 直人

8月11日、震災からちょうど2年5か月たったこの日、南三陸町の歌津地区、伊里前福幸商店街にて「歌津復興夏祭り」という大きなお祭りが催されました。

商店会の方々や、地元の方々が長い期間をかけて準備し、町の皆さんが楽しみにしていたこのお祭りに、私達はお手伝いさせて頂くことができました。

この歌津の伊里前地区には、震災後、瓦礫撤去や、仮設支援（お茶っこ）で私たちもたびたび訪れる機会がありました。思い入れも強いこの地域で大きなお祭りが行われ、それをお手伝いさせて頂けることは、とても喜ばしいことです。

お祭りの事前準備として、私たちが行ったことは、公園・駐車場整備のための瓦礫撤去、お祭り直前のテントの組み立てや、山にした瓦礫の運搬、草むしりや駐車場のライン引き、のぼり立て、当日訪れた子どもたちのために配布する花火セット作りといった内容でした。

そうして迎えた当日、カリタス米川ベースのボランティアからは、5名が全日手伝いとして参加しました。全日組は、商店会の方で用意して頂いた揃いのTシャツを着て、スタッフとして主に駐車場の誘導、案内係を務めました。当日他の活動を行っていたボランティア・スタッフも、各々の活動が終了した時点で商店街に集まり、最終的にはベース全員、30人を超える人数で、撤収作業や、イレギュラーに発生する仕事を分担してお手伝いして頂きました。



お手伝いして頂く合間に、お祭りを見る時間をとる事が出来、屋台や出店、スポーツメンコ大会といったものから、福島の花ガール、アーティストのBIGINなどといった豪華なステージもお祭りを盛り上げていました。

また、このお祭りにはもう一つ大きなイベントがありました。それは、「歌津のポスト」の返還式典です。震災で流されてしまった歌津地区の郵便ポストが、1年と9カ月の間太平洋を潮に乗って1周し、日本の南、沖縄の西表島に流れ着きました。これに驚いた沖縄の方々の協力のもと、ポストを歌津に返そう、というのがこのお祭りの大きな目的でもありました。歌津の方々も、自分たちの町にあったポストが遠く沖縄から帰ってくることを心から喜んでおられました。メッセージを届けるためのポストの中身は空っぽだったそうですが、このポストは歌津の人たちにたくさんの思い出とメッセージを込めて戻って来てくれたように感じられました。

お祭りの終盤には、盛大な花火が打ち上げられました。「LIGHT UP NIPPON 2013」という、東北沿岸部を中心に15カ所の会場で同時に花火を打ち上げるという壮大な企画で、その会場の一つがこの伊里前の福幸商店街となりました。魚竜太鼓と呼ばれる和太鼓の演奏とコラボレーションしながら、沢山の美しい花火が打ちあがる様子、会場の人たちは心を奪われていました。

花火が終わり、商店会長さんが締めのご挨拶をされる際、感極まって涙があふれ、言葉が詰まってしまう場面がありました。言葉にならない言葉、その中ではっきりと聞き取ることが出来たのは「本当に、本当にありがとうございます」「また来年も、この花火を皆さんにお見せすることをお約束いたします」という言葉でした。その様子を見て、私たちは心から、お手伝いさせて頂けた充実感と、こうした機会を与えてくださった商店会の方々へ深い感謝の心を感じました。

町の復興にはまだまだたくさんの課題があります。その中でもこの町は少しずつ、少しずつ前に向かって歩んでいる。このお祭りに参加した方々の誰もがそのように感じる事ができた一日だったように思います。

また来年もこの町に綺麗な花火が上がりますように。



「地の森八軒街ふれあい月市」

仙台教区サポートセンター 楠瀬 善子

8月17日(土)午前10時より、大船渡市大船渡町地の森の仮設商店街「地の森八軒街」にて、「地の森八軒街ふれあい月市」が開催されました。この月市は、地の森八軒街が地域の活性化と住民の交流、楽しみの場として、6月より月に1回開催しているものです。商店街会長の千田さんにより「昨年、カリタス4ベースの協力を得て開催した『八軒祭』に手ごたえを感じた」ことも開催のきっかけになったそうです。



練習の成果を発揮!

岩手県のカリタス4ベースと八軒街以外の地元商店や団体の模擬店の出店。また歌やダンスのステージも繰り広げられ、会場を盛り上げました。

大船渡ベースは、たこやきとタオルを販売。神奈川県からボランティアで来た女子学生は、このようなイベントではいつも買い物をする側で、売る側は今回が初めての体験。前日に練習をしたというたこやきは、大きいタコも入り、丸くおいしそうに焼きあがっていました。

大槌ベースは皿うどんと山口県の郷土料理「かわらそば」。どちらもボリューム満点です。緑色のおそばは、見た目にも涼しげで、夏の日差しが照りつける会場でほっと一息つける感じでした。皿うどんを持ち帰る方もたくさんいらっしゃいました。

釜石ベースは、フルーツ。ほどよい焦げ目がおいしさを引き立てていました。また縁日も開かれ、親子連れや子どもたちが立ち寄り、くじ引き、ヨーヨー釣り、輪投げなどに真剣なまなざしで参加していました。



宮古ベースは、北海道長沼産のラム肉を使ったジンギスカン。シャキシャキとした野菜に大きくてやわらかいお肉でお腹はすっかり満たされました。

大船渡教会フィリピン人グループ「HAGAS」(ハグアサー)はフィリピンのかき氷「ハロハロ」とTシャツの販売。「ハロハロ」は、タピオカやアボカドが入っており、いろんな食感を楽しめました。また、ステージでは「バンブーダンス」を披露し、会場に一体感が広がりました。

その他、ステージでは、地元のフォークソングデュオによるライブや、飛び入り参加で、北海道からボランティアに来られたご夫妻による歌声喫茶と、東京からボランティアに来られた青年のダンスも披露され、集まった人々を喜ばせていました。

八軒街以外の出店では、お祭りならではのかき氷や生ビールの他、地元の餅「かまもち」や農産物、被災した松を使用したハガキやしおり、大船渡市のキャラクター「おおふなトン」グッズなどの販売が行われました。ハガキ等を販売していた女性は「今頃は、あんまりハガキを出さなくなってきたけど、ハガキを受け取ってくれた人に、大船渡のことを思い出してもらえないか」と考え作ったと話されていました。ふれあい月市は、全国から集まったボランティアと住民の交流、発信の場ともなったようです。



他でのイベントと重なったこともあり、月市開始まもなくは来場者もまばらでしたが、徐々に増えてゆき、子ども、親子連れ、ご近所さん同士誘い合って来られた高齢者など、幅広い年代の方が訪れ、思い思いに過ごされ、楽しんでいられました。



フィリピンの人々による
バンブーダンス

↓
ボランティアさんも
飛び入り参加!



大槌ベース ラジオ番組 「カリタスと一緒にハピネス！」

カリタス大槌ベース 生利 望美

今年の4月から「おおつちさいがいエフエム」で、週1回番組をさせていただきます。活動の中での住民さんの声やボランティアさんの声。時には収録の時にゲストをお招きし、生演奏があったり、一緒に楽しいトークをしたり。リスナーが一瞬でもホッとするような内容を心がけています。支援者の皆様にも被災地からの明るい話題や住民さんの元気な声を聴いていただければ幸いです。

インターネット(サイマルラジオ、Ustream)による同時配信も行っておりますので、全国どこからでも聴くことができます。お時間がある時に、どうぞお聴きください。

番組タイトル「カリタスと一緒にハピネス！」

周波数：77.6MHz (放送エリア:大槌町内)

毎週火曜日 15:00-15:30

(再放送) 毎週木曜日 20:00-20:30



「おおつちさいがいエフエム」については、下記のホームページをご覧ください。よろしくお願いたします。

<http://www.town.otsuchi.iwate.jp/docs/2012032800013/>

*サイマルラジオの使い方なども紹介されています。

*USTREAMでは、過去の放送も聴くことができます。

*『USTREAM おおつちさいがいエフエム』へは、下記QRコードからアクセスできます。

